

会 議 録

会議の名称	令和4年度第5回飯塚市地域福祉推進協議会
開催日時	令和4年12月20日(火)14:00～15:30
開催場所	飯塚市役所 1階多目的ホール
出席委員	13名(小賀会長、浅田委員、阿波委員、大久保委員、大塚委員、岡松委員、坂本委員、櫻木委員、白瀧委員、高岡委員、松原委員、山田委員、渡辺委員)
欠席委員	4名(吉良委員、友松委員、長谷部委員、安永委員)
市職員	松本課長補佐、平田係長、山田
委託業者	株式会社ジャパンインターナショナル総合研究所(森山、和宗)
会議内容	<p>1 開会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会長あいさつ 計画の策定も大詰りを迎えている。先日事務局と打ち合わせを行い、計画書内の表現を変えた。検討していただきたい。年明けにもう一度検討したい。 ・事務局からの連絡事項 伊佐副会長に参加いただいていたが、民生委員の任期が切れ、民生委員を退任された。現状、副会長は空席となっている。次回の会議で副会長を選出したい。 <p>2 議題</p> <p>(1) 第3期飯塚市地域福祉計画(案)について ＜事務局による説明＞</p> <p>[委員]</p> <p>事前質問の部分について、複数の課を跨ぐ取り組みに関してはいたし方がないと思うが、他の計画をみると、担当課を書いているところもあり、所管課が記載されている。我々が窓口で質問をしたときに、関係各課にまわしていると回答さ</p>

れる。所管課が書いていると市民としては安心する。一市民にとって関係部署について記載が欲しい。

[会長]

子どもに関する計画、障がいに関する計画であれば所管課が対象別となっているので認識できる。地域福祉ということは縦割りの行政課題ではなくて、関係各課としてあらゆる課が所管をしている状況である。通常は計画の進捗状況含めて関係各課長、係が一堂に会して進捗状況を報告している状況にある。

以前は、担当課がいろんな課に対してお願いをしないといけないということがあったが、これまでの地域福祉計画を策定するなかで、担当課は窓口としてあるが、すべての課が担当課ということ認識し、全課の取り組みとして関係する課は自分たちの取り組みとして認識できるよう市長にお願いし、そうした体制をつくってきた。

こうしたことを変えたくないと思っている。個人的には、所管課を書かない方がよいと思う。市長に答申する際、改めて説明し、答申したい。

[委員]

説明は理解できる。そうしたことは初めて知った。審議会に関わらないとわからない。プランとして関わっていないと一市民は分からないので、そうしたことを伝えられるようにしてもらいたいと感じた。

[会長]

ご意見については、事務局と検討したい。

[委員]

委員が事前の質問で出された意図は、今後の課題として男性、女性の同一数の委員の選出を行ってほしいということではなく、地域における委員の男女同一数の選出を行ってほしいということではないか。

[委員]

その通りだ。まちづくりの運営のあり方についてのことだ。協議会の運営がほとんど男性となっている。行政から言ってもらおうと進められるのではないか。

[事務局]

この計画の中でどのように組み入れるかは難しい。まち協等での男女登用を半々とすることで良いのか。

[委員]

必ずそうしましょうということではなく、極力務めましょうということをお願いしたい。

[会長]

飯塚市が所管する各委員会等については、女性委員の割合の目標を決め、それに向けて取り組むということは必要だ。しかし、そうでない民間に対してそれをいうことは難しい。しかし飯塚市として、民間でも、地域の女性の登用が進められることを望んでいるといった文章はあってもよいのではと思う。事務局で検討してもらいたい。

[委員]

那珂川市における女性活躍の取り組みを参考にしながら、地域で活躍する女性を増やしてもらいたい。地域福祉計画においても、そうしたことが書かれてあると嬉しい。自治会やまちづくり協議会においても、自治会長とかも言われればやるよと言う女性もいる。そうした人たちの門戸を広げる取り組みをお願いしたい。

[事務局]

まちづくり推進条例や男女共同参画推進プランもあるので、これらの部分を含め関係部署と調整し、検討したい。

[会長]

女性登用の考えを市が打ち出した場合、市民側からアイデア等を伝えることが正攻法だと思う。助成金などを設けて促進することは本来あるべきではないと考える。もっと女性が手を上げやすい、市民の考え方を柔軟にしていくことがあるべき姿と思う。女性がもっと委員としてなりたいということを言える環境にしていく必要がある。

最後、事前質問にあった「ヘイトスピーチ」に関する説明文についてだが、「他者の権利を侵害することを目的として、貶めようとしたり辱めようとしたりすること」といった文章を追加すればよいと考える。

(2) 第3期飯塚市地域福祉計画策定に伴う意見募集(案)について

[委員]

閲覧の設置場所について、閲覧するにあたってその場で閲覧すること以外に何かできないのか。ホームページなどを使いきれない方々への募集方法について検討をお願いしたい。また、私ども委員も意見を出しても良いのか。

[会長]

意見を広く市民から意見を集めることは問題となっている。ホームページだけではなく、例えばこの委員会に関わっている団体にホームページがあれば、そこからリンクを

張る等のことが考えられる。

[委員]

以前は、学習会を行うということはあった。

[委員]

視覚障がい者、聴覚障がい者への対応はどうなっているのか。点字、読み上げ等の対応が考えられるが、どうか。

[事務局]

市民意見募集については、現状では、対応していない。

[委員]

盲聾者にとっての課題は、情報を集めることだ。情報が欲しい場合、通訳者が必要となる。今後の課題だと考えている。

[会長]

聴覚障がいの場合であれば、文字は読めるので送り仮名をふる等の対応が可能だ。視覚障がい者の場合であれば、パソコンであれば読み上げ機能がある。パソコンがない場合、点字となるが、今回準備が時間的にできない。

ある程度時間がかかり、図表なども表現しづらいため、どう乗り越えていくかは課題となる。

市民からの意見募集については準備期間としても間に合わないので、5年後の課題として他の計画への検討課題として捉えておきたい。

[委員]

他の自治体がどんな取り組みを参考にしたらよいのでは。

[会長]

事務局において他の自治体の先進事例を収集しておいてほしい。

[委員]

点字ディスプレイというアプリがある。このように、テクノロジーでカバーできることもある。情報工学の大学があるので、障壁となっているものを取り除くということで連携したらよいのではないか。

また、概要版をどうするのか。

[事務局]

概要版も作成することになっている。概要版くらいの分量であれば、点字にすることは可能と考える。ワードの機能を利用した読み上げ、点字、併せて検討したい。

	<p>(3) 第5回協議会以降のスケジュール(案)について</p> <p>[委員] 素案に対する意見は、12月28日までとなっているが、1月3日までに出しても大丈夫か。</p> <p>[事務局] 1月4日に出勤するので、問題ない。</p> <p>3. 閉会</p>
<p>会議資料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・飯塚市地域福祉推進協議会(第5回)次第 ・第3期飯塚市地域福祉計画(素案) ・第3章、4章関連 基本目標・活動目標・活動内容の体系図 ・事前質問等一覧 ・飯塚市地域福祉推進協議会 事前質問回答資料 ・ご質問等記入用紙 ・第3期飯塚市地域福祉計画策定に伴う意見募集(案)について ・飯塚市地域福祉計画(第3期計画)策定スケジュール(案) ・庄内交流センター・ハーモニー位置図
<p>公開・非公開 の別</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 1 公開 2 一部公開 3 非公開 (傍聴者 0名)</p>
<p>その他</p>	